

目黒区立宮下児童遊園 第二回あおぞら意見交換会

2025年9月28日(土)



第一回あおぞら意見交換会の振り返り

開園後59年を迎えた宮下児童遊園は改修を行うこととなりました。
整備内容について、皆様から広く意見・要望を伺うため、あおぞら意見交換会を開催致します。

事業の目的

安全安心な子どもの遊び場の創出

地域の憩いの場となるオープンスペースの創出

生物多様性の向上

事業のスケジュール

第一回検討会（整備方針）

7月6日（日）

整備に至る経緯や計画地の概要等の説明
整備方針についての意見交換を行いました。

アンケート調査

7月23日(水)～8月6日(水)

第1回検討会のニュースレターと共にアンケートを実施し、整備に関する要望などの調査を行いました。

第二回検討会（施設案）

9月28日（日）

第1回検討会の内容をふまえたプランイメージの提示
プランについての意見交換を行います。

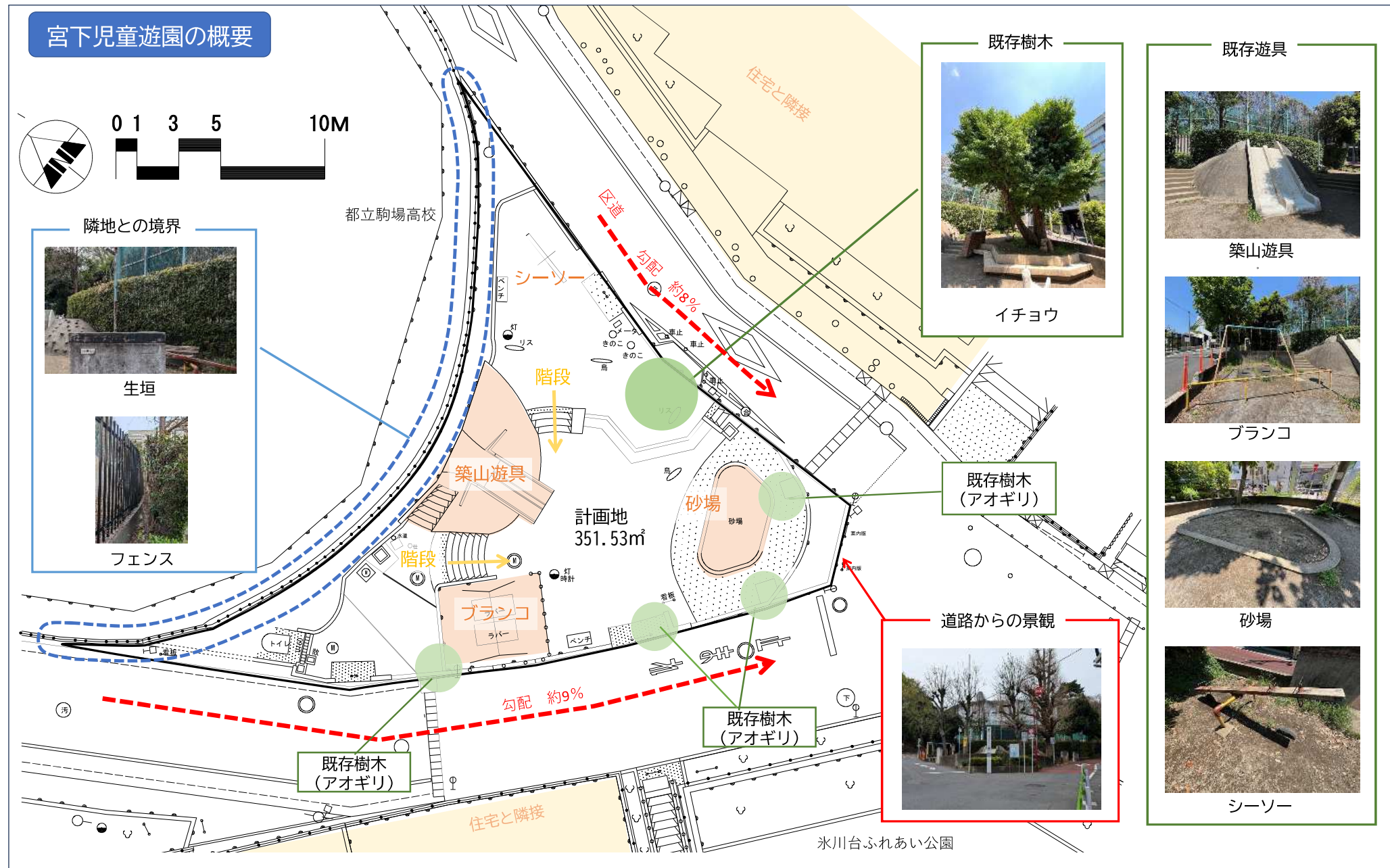
設計作業

検討会の結果に基づき、設計内容を取りまとめます。

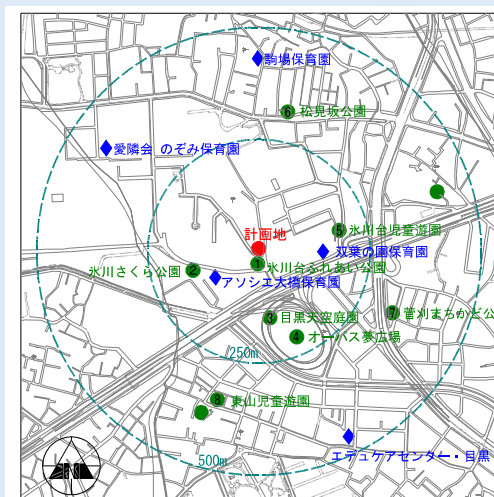
公園整備・開園

令和8年度（予定）

宮下児童遊園の概要



近隣公園施設



	公園名	開園	面積	宮下児童遊園との距離	滑り台	ブランコ	砂場	シーソー	回転遊具	ロッキング遊具	健康遊具	ベンチ	トイレ	水飲み
計画地	宮下児童遊園	S41.1.21	351.53㎡	0m	○	○	○	○				○	○	○
①	氷川台ふれあい公園	R7.1.28	427.15㎡	35m							○	○		○
②	氷川さくら公園	H30.6.20	403.75㎡	150m							○	○		○
③	目黒天空庭園	H25.3.30	7000.00㎡	160m								○	○	○
④	オーパス夢広場	H25.3.30	3000.00㎡	170m						○		○	○	○
⑤	氷川台児童遊園	S59.4.9	325.70㎡	180m			○					○		○
⑥	松見坂公園	H19.2.17	191.41㎡	310m										
⑦	菅刈まちかど公園	H元.12.16	200.13㎡	330m								○		○
⑧	東山児童遊園	S27.3.31	914.00㎡	350m	○	○	○		○	○		○	○	○

計画地の近隣には、小規模から大規模の様々な公園が点在するが、広場がメインの公園が多く、遊具の設置数は少ない。
また、近隣には保育施設が存在する。

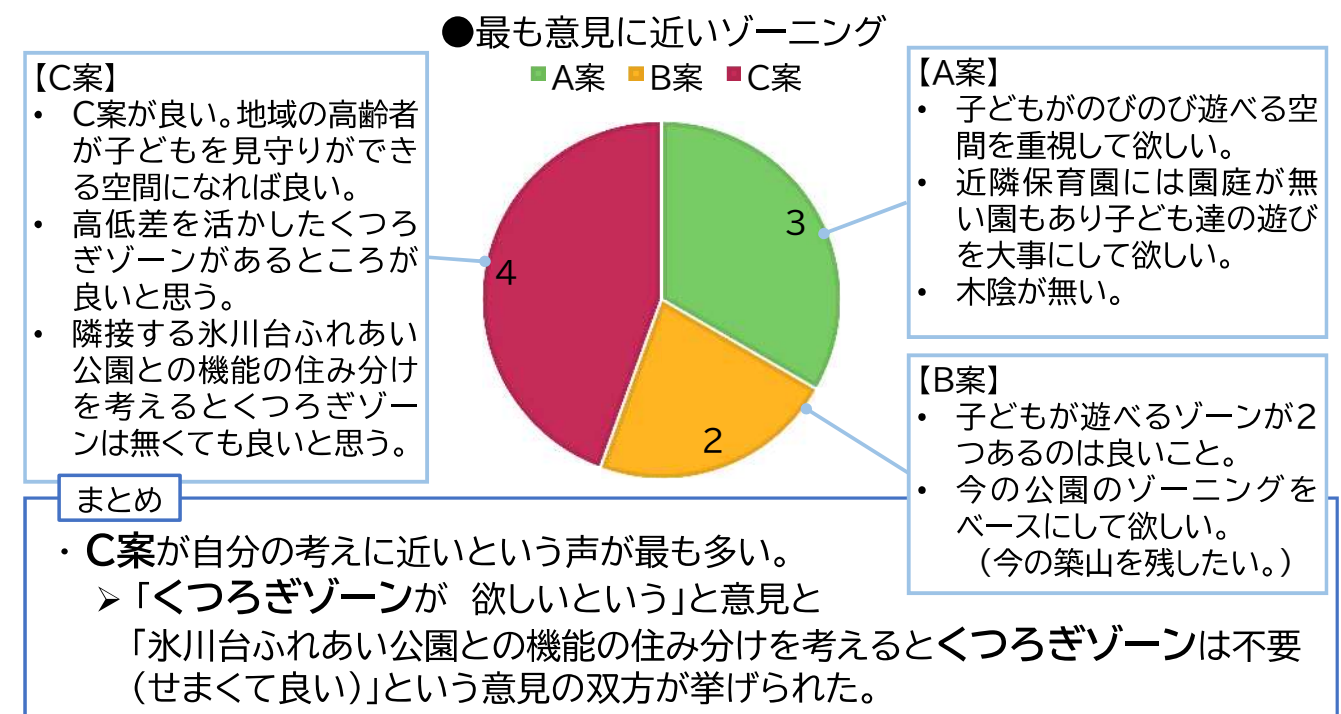
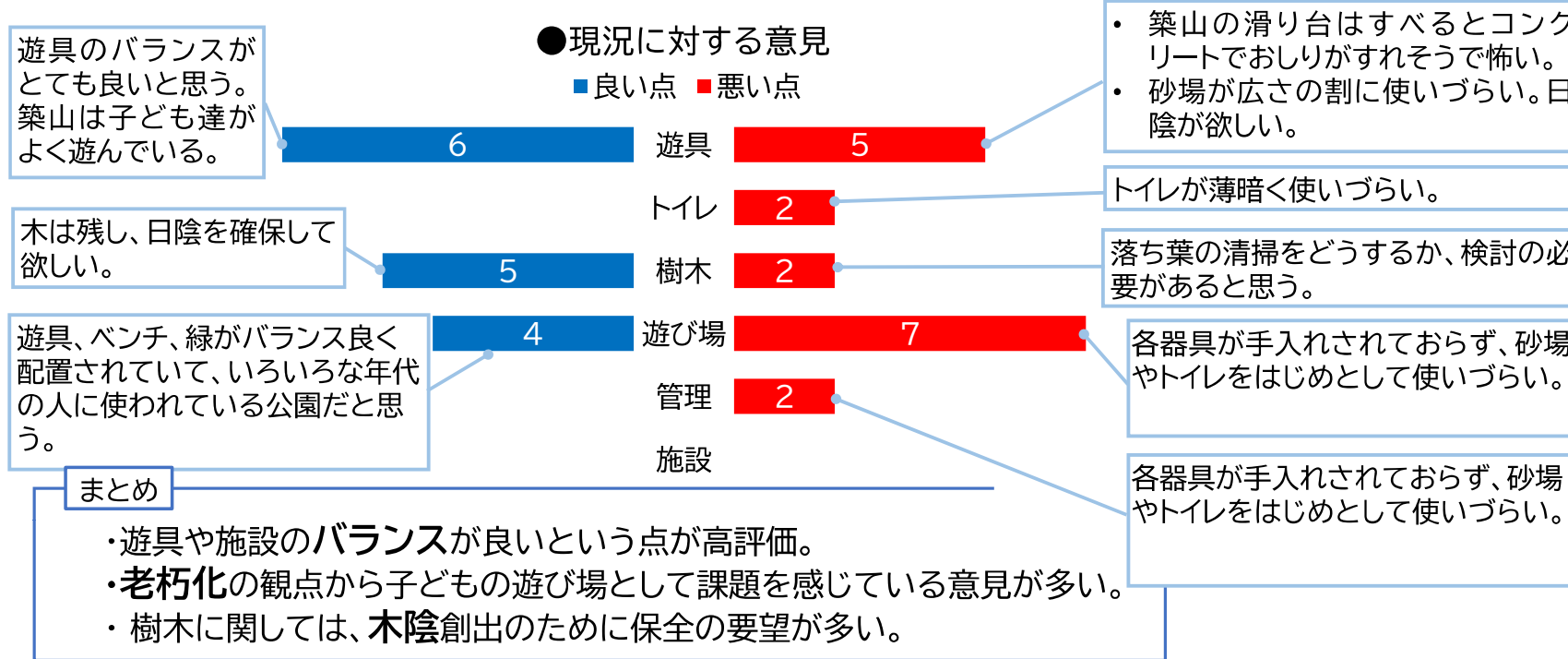
周囲の公園には、遊具が不足している。

目黒区立宮下児童遊園 第二回あおぞら意見交換会

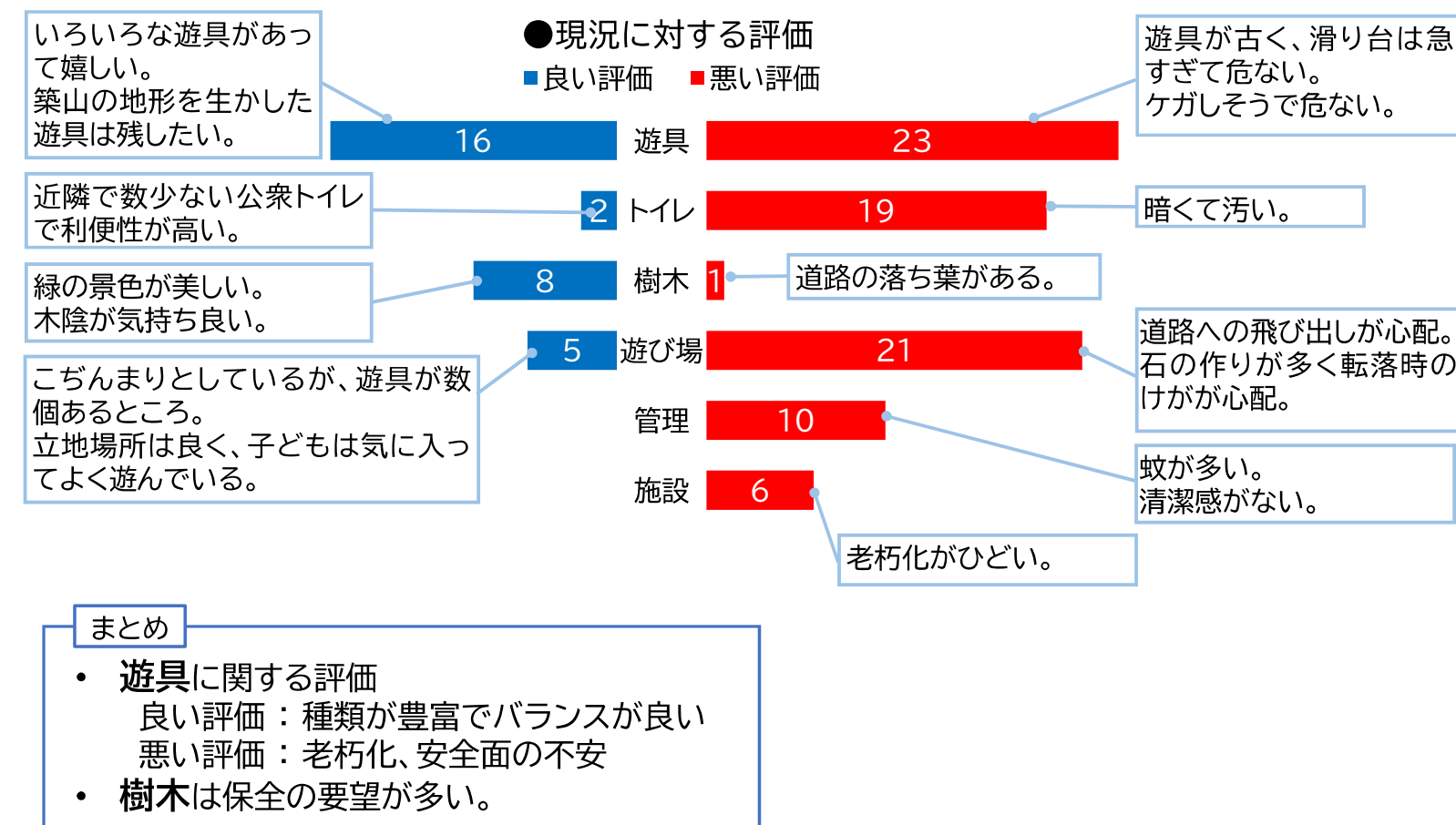
2025年9月28日(日)



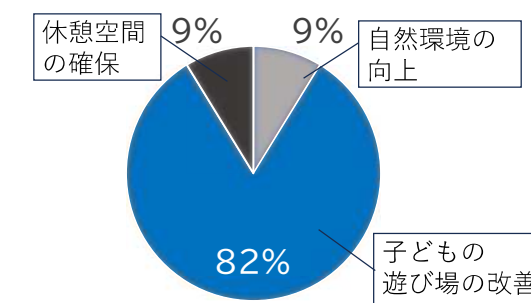
第一回あおぞら意見交換会の結果【参加人数 17名】



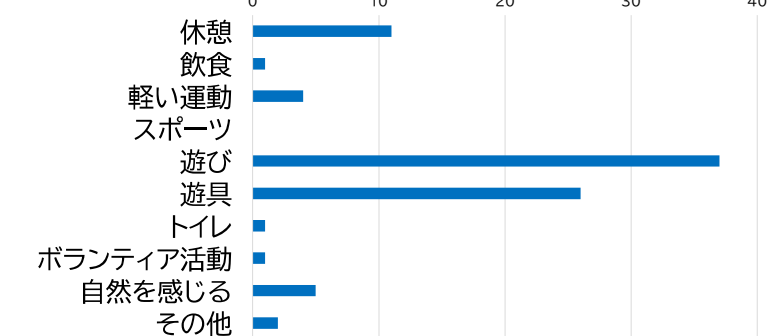
アンケートの結果【回答総数 59件】



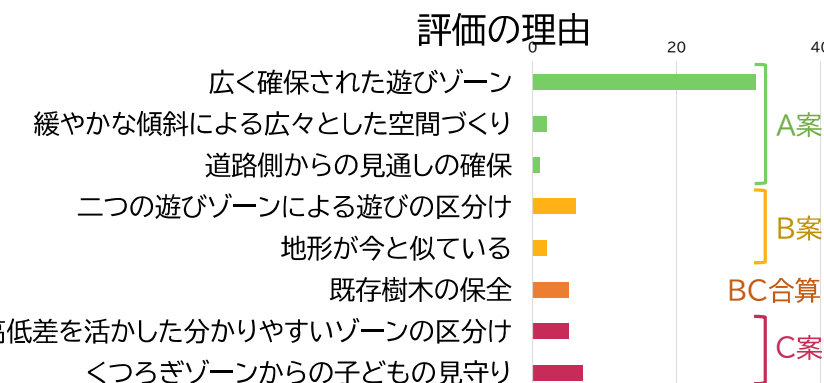
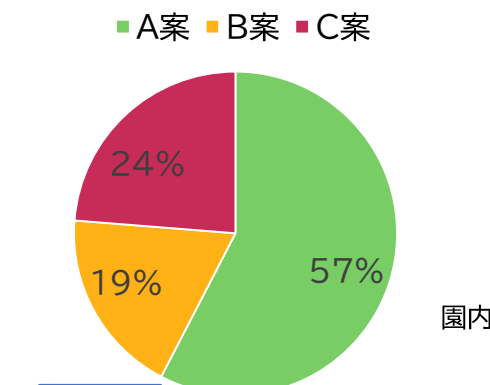
●宮下児童遊園に期待すること



●現在利用する主な理由(複数選択可)



●最も意見に近いゾーニング



まとめ

- 上記3つのアンケート結果より、遊びの機能が重要視されている。

目黒区立宮下児童遊園 第二回あおぞら意見交換会

2025年9月28日(日)



第一回あおぞら意見交換会・アンケートの考察

	第一回あおぞら意見交換会	アンケート
現状について	●木陰になる樹木を残す要望が多い ●園内が手入れされているように見えない ●いろいろな年代の人に使われている ●夜は不審者が怖くて通れない	●樹木はほとんどの回答者が良いと評価している ●トイレは治安面・衛生面から使うのを躊躇する ●子どもの遊び場の他に大人が休憩する場としても使われている ●暗くて怖い雰囲気がある
現況の遊具について	●遊具や施設のバランスが良いという面で高評価 ●築山遊具の評価に「愛着」がある一方でそれを上回る安全面への不満が上がった	●すべての遊具が満遍なく回答されており、多様な遊びの要素があることが評価されている ●種類が豊富でバランスが良いと評価された反面、老朽化・安全面の不安も見られた ●築山遊具はスリルある形状を好ましく思う声とケガを心配する声の両方が上がった
計画案の評価	●C案に多くの意見が寄せられた	●A案の評価が最も高く58%
計画案を選んだ理由	●A案:子どもがのびのび遊べる空間 ●B案:2つの遊びゾーンが良い ●C案:子どもを見守る空間	●A案:広く確保された遊びゾーン ●B案:2つの遊びゾーンによる遊びの区分け ●C案:くつろぎゾーンからの子どもの見守り

遊びゾーンを中心とした計画とする

利用者の安全面に配慮し、多様な遊びができるように遊びゾーンを計画する

くつろぎスペースをC案よりは縮小しつつ確保する

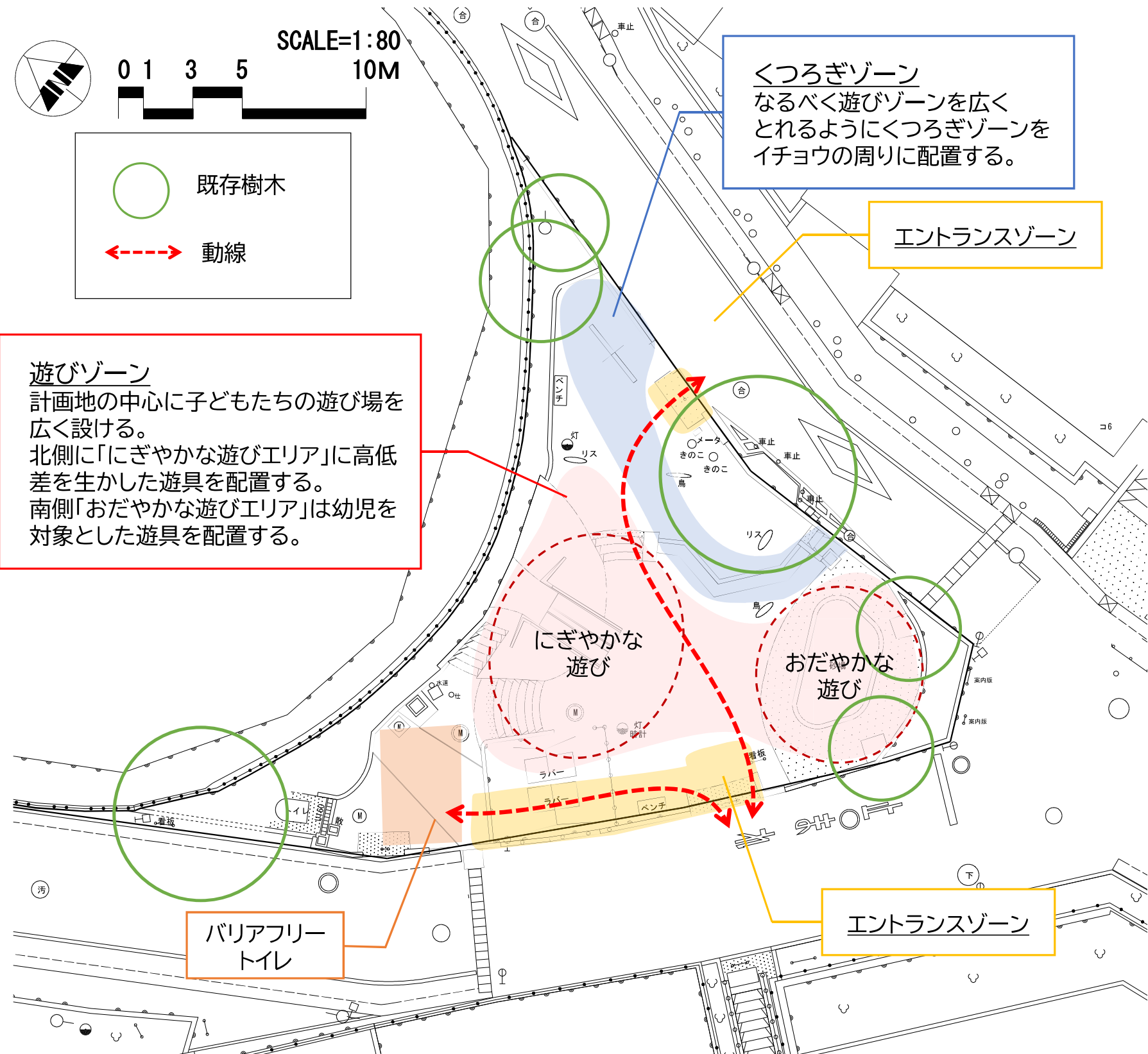
木陰を創出する高木を保全する

こちらをもとにして、コンセプトとゾーニングを再検討する。

コンセプト

楽しく遊び、木陰で見守る地域に開いた児童遊園

ゾーニング



目黒区立宮下児童遊園 第二回あおぞら意見交換会

2025年9月28日(日)

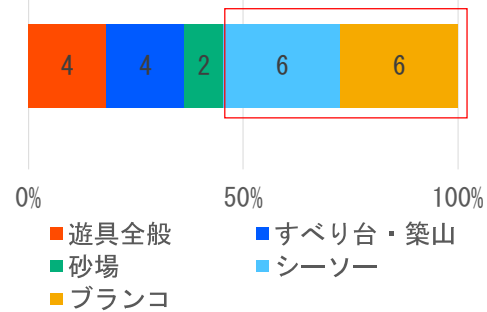


計画案

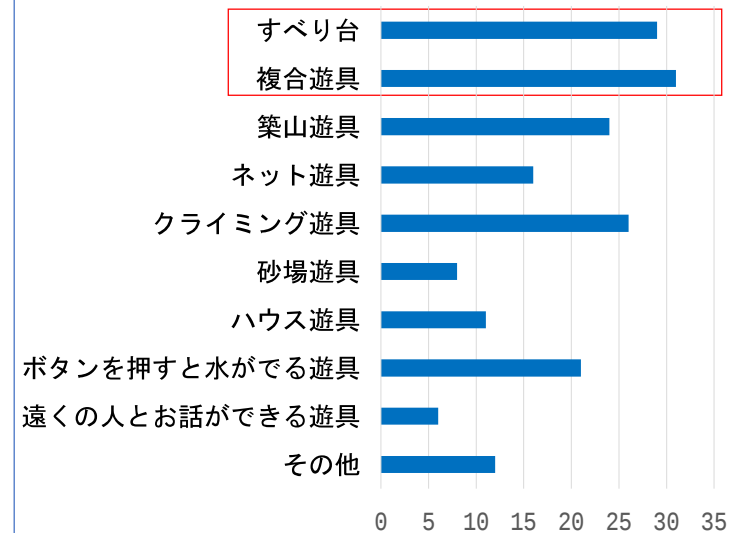
- にぎやかな遊びエリアは、現在の築山がある位置にゴムチップで地形をつくり、複合遊具を配置する。
- 地域住民に愛されている築山と同じ体験をすることができると共に、自由度が高く遊ぶことができる。
- おだやかな遊びエリアには、現在も人気が高く他の公園には数が少ないシーソーと、幼児も遊ぶことができるステップ遊具を配置する。

遊具に関して頂いた意見

- 今の公園に対して良い評価を得た遊具
(第一回あおぞら意見交換会)



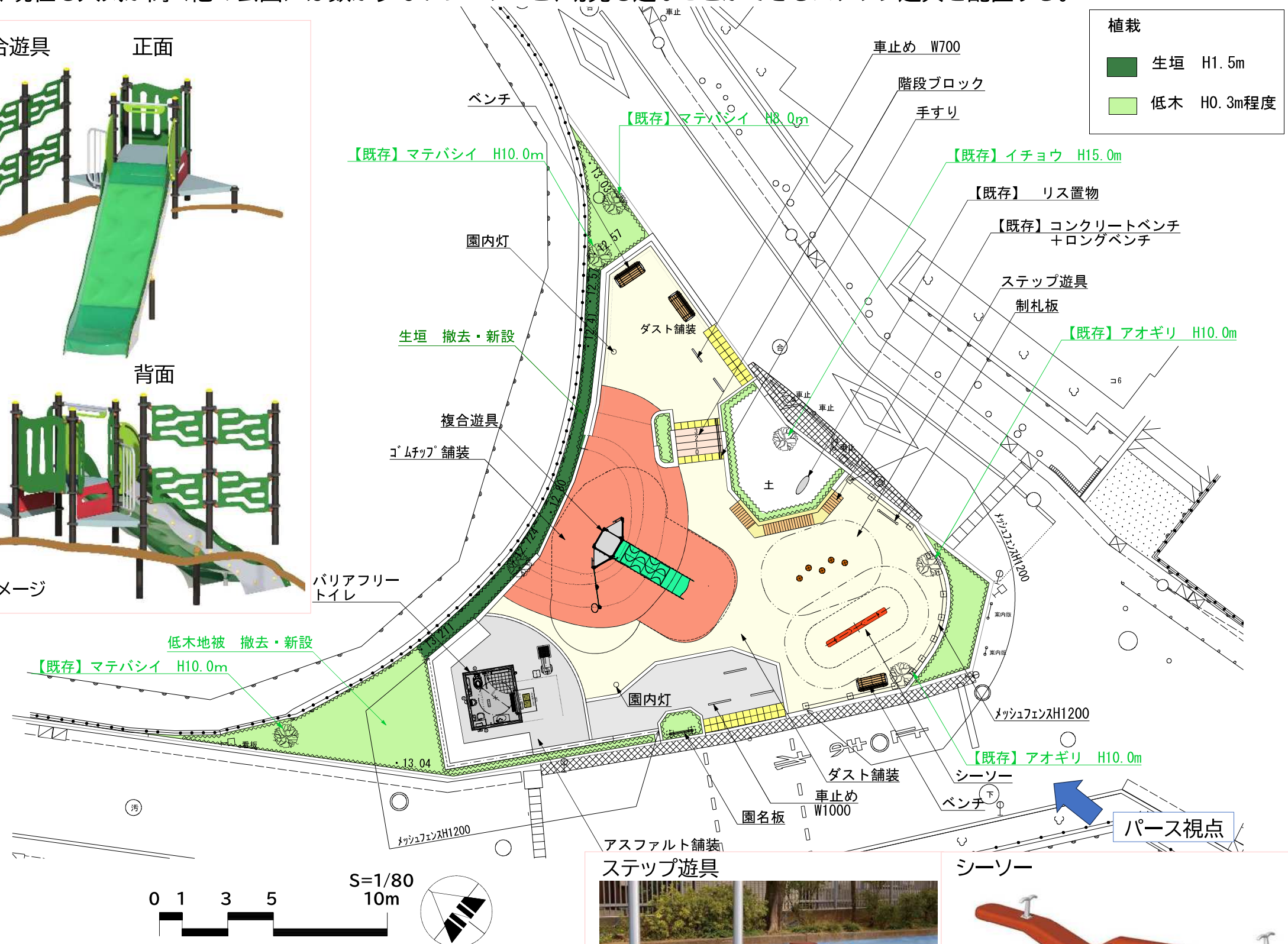
- リノベーション後の宮下児童遊園に
欲しい遊具
(アンケート・複数選択可)



複合遊具、滑り台やシーソー、ブランコが
求められている。



※イメージ



植栽

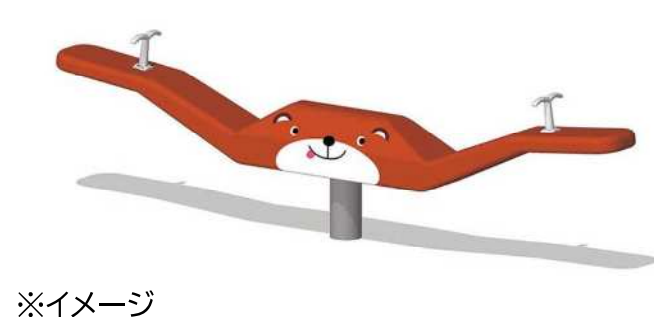
- 生垣 H1.5m
- 低木 H0.3m程度

アスファルト舗装
ステップ遊具



※イメージ

シーソー



※イメージ

※計画案は計画中のものであり、
区の財政状況により変更する可能性があります。

目黒区立宮下児童遊園 第二回あおぞら意見交換会

2025年9月28日(日)



施設設備関係

水飲み



※イメージ

ロングベンチ



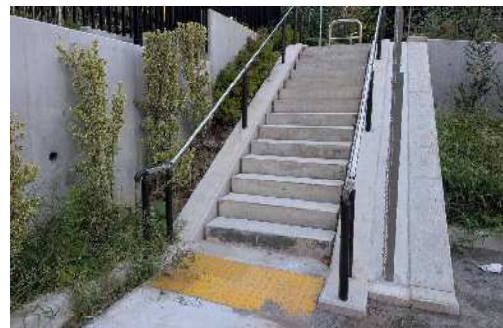
既存の施設を生かしたベンチ
※イメージ

ベンチ



※イメージ

階段・手摺



※イメージ

バリアフリートイレ



※イメージ

ゴムチップ舗装



※イメージ

ダスト舗装



※イメージ

フェンス



※イメージ

※計画案は計画中のものであり、区の財政状況により変更する可能性があります。